

輝く 田底っ子

第26号

文責：校長 益永 一幸

田底小 スローガン

① 自分と周りの人を大切にしよう

② 自ら進んで学び、互いに高め合おう

広がってほしい「ボランティア活動」～落ち葉掃き～

右の写真は、9月15日（水）の朝の様子です。6年生の子どもたちが職員室前庭の落ち葉掃きボランティアをしていました。集会や委員会活動・昼休みの遊びなど、様々な活動が制限されている中、「自分たちに今できることは何か」を考えて行動する力が必要とされます。この力は予測困難な時代をたくましく生きる力であり、これからの子どもたちに求められている資質・能力です。6年生のボランティア活動はとても素晴らしい行動です。全校に広がってほしいです。



ALTの「ベネッサ先生」紹介



2学期から新しく ALT（外国語指導助手）の先生が着任されました。名前は「ベネッサ・ウェラ」先生（通称ベンズ先生）です。フィリピン出身の先生で、福岡県や熊本市の学校で外国語の授業をされていたようです。授業はとても表情豊かでパワフルに子どもたちと楽しく会話されます。フィリピンの生活や文化の紹介はとても引き付けられました。

しっかり守っています「コロナ対策」

保護者の皆様には、朝からの検温・体調チェック等の様々な対応をしていただき、子どもたちは無事全員学校生活をスタートできています。本当に感謝いたします。学校でも、「登下校時の密を防ぐ」「手洗い・消毒」「給食時の黙食」などコロナ感染予防対策を徹底し、子どもたちはしっかりそれを守って生活しています。給食は、会食を通して人間関係をよくするという目的もあり、グループになって楽しく会話をしながら食べたり、先生も一緒に食べたりすることはとても大切ですが、残念ながらまだその光景が見られません。おいしい給食を黙って食べている子どもたちを見ていると、早く通常の学校生活にもどってほしいと願うばかりです。

